資料５

令和２年度大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会事業方針（案）

令和２年度大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会においては、今年度の議論を引き継ぎ、以下の事業を予定している。

１．目的

これまでの大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会の取組等により都県及び大規模自治体等を中心とした協議会参加自治体における計画策定の推進や災害対応能力向上については、一定の成果が出てきたところである。

来年度は、引き続き協議会構成員を中心とした連携・協力体制を維持しつつ、都県のリーダーシップの下、大規模自治体や被災経験自治体からの支援もいただきながら、中小規模自治体における計画策定や能力の向上の取組を通じて、関東地域ブロック内の自治体間の相互支援体制の強化を図ることを目的に協議会活動を進めることとする。

２．実施予定事業

１）協議会　２回開催予定（第１～２四半期、第４四半期を予定）

関東事務所が事務局を務め、協議会を２回開催する。第４四半期に開催予定の協議会において、年度に実施した調査及びモデル事業等の情報提供を行う。

２）大規模災害発生時における関東ブロック災害廃棄物対策行動計画及び支援チーム運営マニュアルの改訂

令和元年に発生した令和元年房総半島台風（15 号）、令和元年東日本台風（19 号）及び 21 号の際に発動した支援チームの知見を反映させた改訂案を作成する。

①コアメンバーＷＧにおいて意見を収集する。（３回程度開催予定）

②被災自治体ヒアリングを実施する。（５自治体程度）

３）災害廃棄物対策啓発交流会　５回開催予定

関東地域ブロック内の中小規模自治体の災害対応力向上のため、ブロック内の自治体（都県）５か所を選出し、それぞれの都県で１０自治体程度を対象に協議会及び支援チームの目的と活動実績の周知、中小規模自治体における災害廃棄物対策の課題に対する意見交換のための災害廃棄物対策啓発交流会を開催する。

４）意見交換会

関東地域ブロック内で災害廃棄物処理に関する情報提供・共有を図るため、以下の意見交換会を開催する。

①都県担当者による意見交換会　２回程度開催予定（８月、１２月頃）

都県担当者間での情報共有及び意見交換を目的として開催する。議論テーマは、担当者からの要望に応じて決定する。

②市町村担当者による意見交換会　２回程度開催予定（10 月頃）

市町村担当者間での情報共有及び意見交換を目的として開催する。議論テーマは、担当者からの要望に応じて決定する。

５）災害廃棄物関係実務に係る人材育成

現場体験と知識の体系化により、被災時に必要となる度胸と見通しを体得し、自らの自治体や関東ブロックにおける災害廃棄物関係実務に係るリーダー養成の一助とする研修を行う。

〇令和元年台風 19 号における災害廃棄物処理現場研修の実施

１回開催（６月～７月頃を予定）

〇現場研修参加者に対するフォローアップ研修を実施する。

６）調査・情報収集

関東地域ブロックの災害対応力の向上のため、以下について調査・分析を行う。

①災害廃棄物処理における戸別収集の実態調査

戸別収集の課題について整理を行う。

②被災による停電を経験した焼却施設の対応・復旧プロセスの実態調査

停電時の対応と復旧プロセスについての知見を整理する。

③情報発信　全国都市清掃会議の研究事例発表会等において情報発信を行う。

７）令和元年房総半島台風（15 号)、令和元年東日本台風（19 号）災害廃棄物処理対応の記録誌の作成

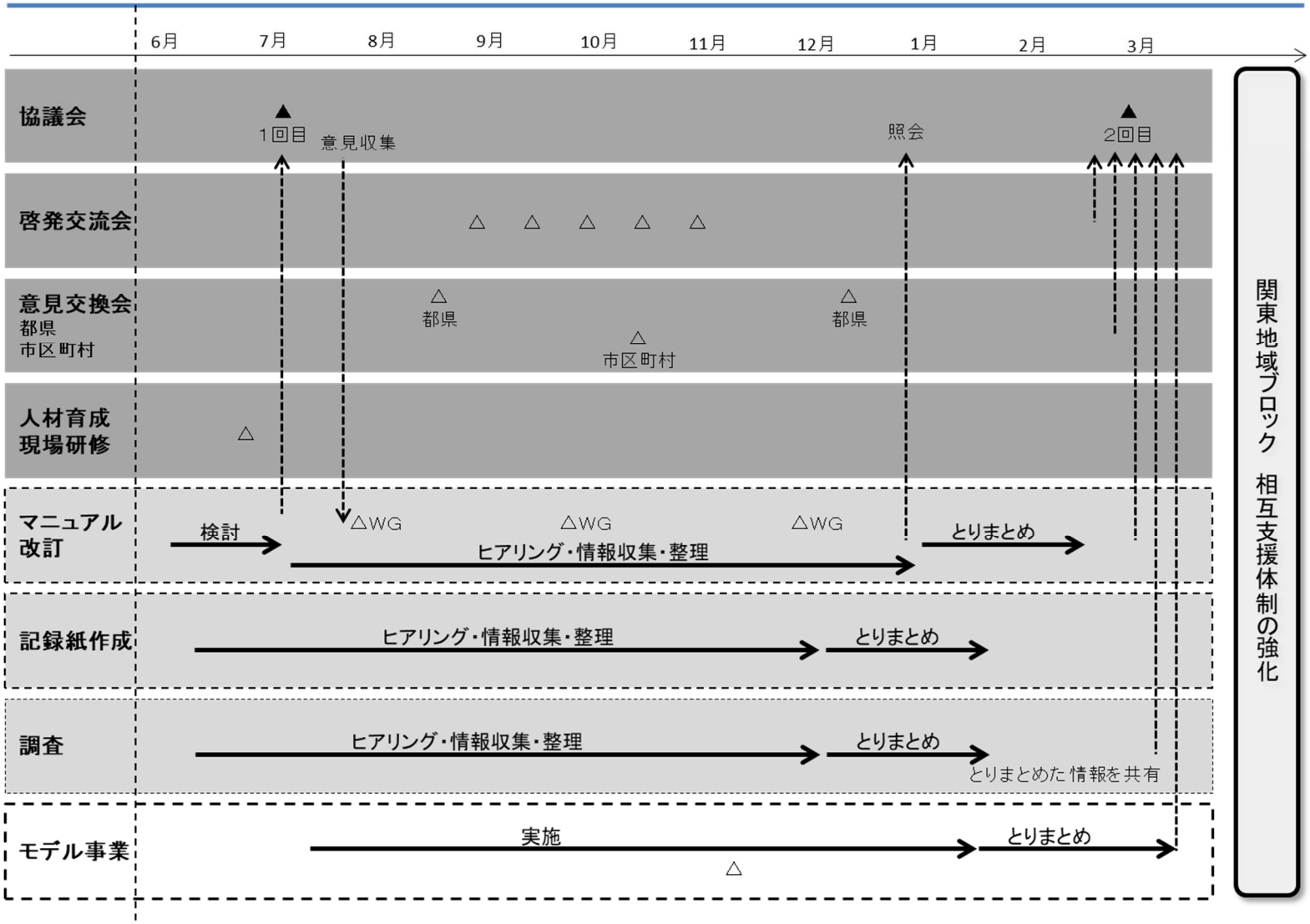
令和元年房総半島台風（15 号)、令和元年東日本台風（19 号）における災害廃棄物処理対応に関する記録誌を作成する。

８）モデル事業

①都県と連携した災害廃棄物処理計画の策定事業

災害廃棄物処理計画の策定率向上を目指して、３都県 20 市町村を対象とし実施する。

②机上訓練　１回開催予定

都市近郊自治体をモデルに仮置場選定についての机上訓練を実施する。

令和2年度ロードマップ（案）